

横浜南西地域
普通科
(氷取沢高校・磯子高校)
設置計画

平成31年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 氷取沢高等学校 磯子高等学校
- (2) 位置 氷取沢高等学校敷地（横浜市磯子区氷取沢町9-38-2）
- (3) 実施年度 平成32年度

2 設置の目的

- これまで両校が取り組んできた成果を踏まえ、英語によるコミュニケーション能力の向上と姉妹校交流を通じた国際教育を一層推進する。
- 地域との協働・連携を一層重視した教育活動を展開し、地域に根ざしつつ国際性豊かな人材の育成に向けた、新たな学校文化の創造をめざす教育に取り組む。

3 基本的コンセプト

- 学年制による全日制普通科の県立高校として教育を展開する。
- これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育の展開
共通教科・科目を中心とした教育課程を編成し、基本的な知識・技能の習得と、主体的に学び、自ら課題を発見し解決するための思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また、知・徳・体のバランスの取れた教育を展開し、自ら成長し行動できる自立した良き市民の育成をめざす。
- 異文化理解に向けた国際教育の推進
国際化が進展する社会において、英語教育の充実を図るとともに、様々な教育活動を通して実践的なコミュニケーション能力の向上と国際的感性の醸成に取り組む。また、姉妹校交流などの体験活動を通じた国際教育を推進し、多様な他者に対する理解を深め、協働して課題解決ができるグローバル人材を育成する。
- 地域と連携・協働した教育活動の推進
これまで両校が取り組んできた地域との連携・協働を継承・発展させ、生徒の地域社会へ参画する意欲を高めるとともに、地域の教育力を活用した教育活動の推進を図り、学ぶことと社会のつながりを実感できる地域とともに歩む学校づくりを推進する。

4 設置形態

- (1) 課程 全日制の課程
 (2) 学科 普通科
 (3) 学校規模 1080名（各学年360名 9学級規模程度）
 ※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
 (4) 修業年限 3年
 (5) 学期 2学期制
 (6) 履修形態 共通教科の科目を中心とした必修科目及び選択科目による履修
 (7) 授業展開 50分7限1日、6限4日を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

<日課表> (予定)

	7校時時程（週1日）	6校時時程（週4日）
ショートホームルーム	8：40～8：45	8：40～8：45
1校時	8：50～9：40	8：50～9：40
2校時	9：50～10：40	9：50～10：40
3校時	10：50～11：40	10：50～11：40
4校時	11：50～12：40	11：50～12：40
昼休み	12：40～13：30	12：40～13：30
5校時	13：30～14：20	13：30～14：20
6校時	14：30～15：20	14：30～15：20
7校時	15：30～16：20	
ショートホームルーム	16：20～16：25	15：20～15：25

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
 (2) 選抜の区分 共通選抜
 (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本的方針
 ○ 高等学校在籍3年以上で、必修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づいて学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。

- 生徒に高度な普通教育を施し、一般的な教養を高めるとともに、上級学校進学をはじめとした進路希望の実現と英語教育の充実に向け、共通教科・科目を中心とした系統的な科目構成とする。

(2) 教育展開の方針

- 入学後の学力把握を行うとともに、観点別学習状況の評価などを充実させ、学習活動を多面的に評価し、確かな学力の着実な定着と発展的な学習の充実を図る授業を展開する。
- 国際化した社会に対応する幅広い知識と判断力を身に付け、自己の考えを適切に表現できるコミュニケーション能力を養い、自己理解及び他者理解を積極的に行う学びの機会を充実させる。
- 習得した知識・技能と自己の思いや考えなどを融合してアウトプットするなど言語活動を充実させ、学びの深化を図る。
- 教科指導を中心に、学校行事や生徒会活動・部活動を通じて「知・徳・体」にわたる「生きる力」を育むバランスの取れた教育活動を展開する。
- 国際教育を通して国際的に活躍できる人材を育成するため、カリキュラム・マネジメントに基づき、国際教育の深化をめざした教育活動を展開する。
- 地域の特性を活用した県立高校生学習活動コンソーシアムによる教育活動を展開する。

(3) 編成の方針

- 生徒一人ひとりの個性や能力の伸長に向け、生徒の学習ニーズ等に応じた教科・科目を設定し、キャリア教育の充実を図る教育課程を編成する。
- 国際教育の深化と充実に向け、英語4技能の総合的な育成と英語によるコミュニケーション能力の向上に向け、系統的な科目を展開する。

(4) 教育課程表 (予定)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1 学年	国語総合 ④				地理A ②		数学Ⅰ ③			数学A ②		物理 基礎 ②		生物 基礎 ②		体育 ②		保健 ①	音楽Ⅰ /美術Ⅰ /書道Ⅰ ②		コミュニケーション 英語Ⅰ ③		コミュニケーション 英語Ⅰ ③		英語 表現 Ⅰ ②		家庭 基礎 ②		総合的な 探究の 時間 ①	L H R ①	
2 学年	Ⅰ 型	現代文 B ②		世界史 A ②		日本史 A ②		数学Ⅱ ④				化学 基礎 ②		体育 ②		保健 ①	コミュニケーション 英語Ⅱ ④			コミュニケーション 英語Ⅱ ④			情報の 科学 ②		総合的な 探究の 時間 ①	古典B ④		数学B /音楽Ⅱ /美術Ⅱ /書道Ⅱ /アドバンス トイングリッ シュ ②		L H R ①	
		Ⅱ 型																					物理 /生物 ④			数学B ②					
3 学年	Ⅰ 型		現代文 B ②		現代 社会 ②		体育 ③		コミュニケーション 英語Ⅲ ④				英語 探究 ②		総合的な 探究の 時間 ①	古典 精読 ②	現代文 研究 ②	世界史B /日本史B ⑤			世界史研究③/日本史研究③/地理B④ /倫理②/政治・経済②/数学B② /音楽Ⅲ②/美術Ⅲ②/書道Ⅲ② /総合英語研究②/コミュニケーション英語Ⅲ② /子どもの発達と保育②			L H R ①							
	Ⅱ 型	古典精読 ②														現代文研究 ②	数学α ③		数学β /情報探究 /総合英語 研究 ②												
	Ⅲ 型	古典B ④														数学α ③		数学β /情報探究 /総合英語 研究 ②													
	Ⅳ 型	化学 /物理研究 /生物研究 ④														数学Ⅲ ⑤		現代文研究②/倫理②/政治・経済②/数学B② /化学④/化学研究③/総合英語研究② /コミュニケーション英語Ⅲ②													

(○囲いの数字は単位数)

※ 教育課程表は予定であり、変更することがある。

国際教育の深化と充実に向けた系統的な外国語（英語）の科目について

氷取沢高校と磯子高校の取組の成果を踏まえた、英語 4 技能の総合的な育成と英語によるコミュニケーション能力の向上を目的とした科目を展開する。

<主な科目>

コミュニケーション英語Ⅲ … 実践的なスピーキング力やリスニング力を高めることを目的とする。日常的な話題や社会的な話題を題材に伝達過程を重視した英語によるコミュニケーション能力を育成する。

アドバンストイングリッシュ … 英語 4 技能を関連付けた言語活動を通し、より高度なコミュニケーションを図る資質、能力を育成する。具体的な言語の使用場面を設定し、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート等の言語活動を通して、主体的かつ自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

(5) 学習指導の工夫

- 知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習や、そのための指導の方法等を充実させる取組みを図る。
- 自らの進路希望や学習目的に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。

(6) 生徒指導等の工夫

- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、さまざまな個性を相互に尊重し、より良い人間関係の構築と自立をめざす指導を行う。
- 生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。
- 教師と生徒との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深める。

(7) 進路指導の工夫

- 生徒が自己のあり方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。
- 教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や進路希望に対応したガイダンスの機能の充実を図るなど支援体制を確立する。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価をいかすなどして、自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- 学校運営協議会制度を活用した学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 国際性豊かな人材育成にかかる教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 国際性豊かな人材育成にかかる教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256